

貴社の若い人は、モノ作りの常識を知って仕事をしていますか？

ものづくり入門塾

第7回
2008年度版

「レゴ」と「紙」を使った「ものづくり体験学習」

「QDC」、「4M」、「工数」——

工場内ではこのような言葉が普通に飛び交っていますよね。

しかし従業員の方々は、どれだけ本当の意味を理解しているのでしょうか？

たとえば「5S」——多くの人はなんとなく説明はできるでしょう。

しかし1Sと2Sの違いを明確に説明できる人は何%いるのでしょうか？

ちまたでは多くの座学が実施されていますよね。しかしこのような座学でモノ作りの基本を理解させることは可能だと思いますか？ 私は無理だと思っています。

その理由は——。

いうまでもなく製造業は手足を動かすことが生業ですよね。ですから、頭で考えるより体を使うことが好きな人たちがたくさん集まって来ていると私は思うのです。このような人たちに座学を行なっても、“こっくり、こっくり船を漕いでいる”のが大半ではないでしょうか。

私が開発した研修プログラム：ものづくり入門塾は違います。

全体の80%が体験学習や実習で占められています。

一日目はレゴを使い、作業効率を上げるには段取りや作業手順が大切であることを学んでいただきます。二日目は折り紙を使い、良い品質を作りこむためには4Mが重要であるということ学んでいただきます。

毎年好評の「ものづくり入門塾」へ、今すぐ申し込みを！

——生産管理と出会って31年——
株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士

西田 順生



塾参加申込書

FAX 0761-57-1679

ふりがな			
会社名			
所在地	<input type="text"/>		
TEL番号			FAX番号
連絡担当者	部署名	氏名	
ふりがな			
参加者			
備考			

※入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。

※当社代表取締役 西田順生は、わが国の「技術士法」によって、“守秘義務”“信用失墜行為の禁止”が課せられていますので、ご安心ください。

塾のねらい

業界の特徴、業界用語、品質・納期・コストの重要性、モノ作りに必要な常識等々について、体験していただきます。

塾の特徴

- ① “レゴ”と“紙”を通じて、「モノ作りの基本」を“体”で学ぶことができます。
- ② グループ演習が80%以上占めますので、受講生が寝るようなことはありません。
- ③ 北陸三県の企業が参加しますので、貴重な交流ができます。
- ④ 「研修レポート」を書かせるので、本人のレベルを知ることができます。
- ⑤ 2名の講師で運営しますので、きめ細かな指導ができます。

塾の開催要領

- 対象…新入社員から現場リーダークラス向け。
- 日時…2008年4月14日(月)・15日(火) 10:00～16:30
- 場所
(財)石川県地場産業振興センター 新館5階 第13研修室
(〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 TEL076-268-2010)
- 参加費…36,000円/一人(税込み価格 37,800円/一人)
※1日目と2日目を分割して受講することはできません。
※1社5名以上お申し込みの場合は、全員7%割引致します。
- 定員…20名
- 申込方法
表面の申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送り下さい。後日、受講票及び請求書を送信させていただきますので参加料金をお振込み下さい。
- 問い合わせ先
株式会社 西田経営技術士事務所
北陸事務所/〒923-1114 石川県能美市小杉町イ240番地1
TEL 0761-58-6535 FAX 0761-57-1679
<http://www.ni-g-j.co.jp>
e-mail : daihyou@ni-g-j.co.jp
お問い合わせ担当者/総務：西田美智代

プログラム

●セクションⅠ 自己紹介、リラクゼーション

- ① グループメンバー間で自己紹介をしあい、研修の雰囲気慣れてもらいます。
- ② レストランを例にして、QDCの重要性を学んでもらいます。

●セクションⅡ 作業効率を体験する

“レゴ”とグループ演習によって、つぎのことを学びます。

- ① 1S、2Sを実施すれば、作業効率が上がるんだ
- ② 効率よく仕事しないとダメなんだ
- ③ お客様の納期は、守らなければならないんだ
- ④ 分業すると早く作れるんだ

●セクションⅢ 準備の重要性を体験する

- ① モノ作りには、準備が必要なんだ
- ② だれでも訓練すれば、上手になるんだ
- ③ 目標を持つと、早く作れるんだ
- ④ リーダーがいると効率よく作れるんだ

●セクションⅣ 不良とは何かを体験する

“紙”とグループ演習によって、つぎのことを学びます。

- ① 不良品を作ることは悪なんだ
- ② モノ作りには、道具(ジグ、設備)が必要なんだ
- ③ 材料はムダにはしてはいけないんだ

●セクションⅤ 常識用語を覚える

<体験学習する用語の例>

「5S」「QCD」「原価」「利益」「7つのムダ」「動作経済の原則」「作業改善の原則」「4M」「特別採用」「不良損金」「顧客クレーム」「不良率」「品質基準」その他多数

●セクションⅥ 理解度テスト

2日間の研修会について「研修レポート」を書いてもらいます。後日当社で確認後、修了証を添えて郵送いたします。

講師プロフィール

【講師】西田 順生

にしだ じゅんせい/製造業専門のコンサルティング会社 株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士(経営工学部門)
1977年神奈川大学工学部工業経営科へ入学し、生産管理技術に魅了される。1981年同学科卒業。(株)村田製作所グループ、及び(株)ナノにて、生産管理、購買業務の経験を経て、1996年にコンサルタントとして独立。優良企業での実務経験とコンサルティング現場で培ったコストダウンシステム・プライシングシステムで脚光を浴び、東京・中部・北陸地区を中心にコンサルティング、講演活動を行っている。
<主著>「作る前にコストダウンする技術(PHP研究所)」、「粗利を2倍にする価格決定論(PHP研究所)」、「生産革命 変種変量生産しか儲からない(泉文堂)」、その他4冊、日経BIZホームページ連載。

【講師】早川 一彦

はやかわ かずひこ/株式会社 西田経営技術士事務所 主任コンサルタント
1969年、早稲田大学理工学部卒業後、(株)コボタへ入社、生産管理、生産技術、品質管理業務に従事。2003年退職後、同社の主任コンサルタントとして活躍。ISO14001審査員、ISO9000審査員補。
<主著>西田順生との共著「一目でわかるISO14000(インデックス・コミュニケーションズ)」

受講者の声

- ◎3年生ですが、今までの仕事の仕方に見直す所がいくつもあり、とても参考になりました。(金沢市の喜多成美氏)
- ◎実際に道具を使った研修会だったので、すごくわかりやすく良かったです。(金沢市の南修平氏)
- ◎実際に手で触れてみるということが重要なことだと思いました。(白山市の稲葉清司氏)
- ◎他の会社の人とのグループワークがとても良かった。(小松市の関真奈美氏)



過去同様の研修会を6回実施。